

## 受賞者の概要

### 施設部門

<最優秀賞>

○羽咋市にぎわい交流拠点 LAKUNAはくい

〔 設置者：羽咋市      設計者：株式会社五井建築研究所 〕

羽咋駅周辺及び市全体の賑わい創出の拠点として建設された施設。バスの待合スペースや図書カフェ・学習スペース、シェアスペース等を整備し、こどもから高齢者までさまざまな世代が集いふれあう場となっている。車椅子用駐車場から館内出入口まで連続する大きな庇を設けたり、多言語対応の多目的トイレを設置するなど、誰もが利用しやすいように随所に配慮が見られる。特に屋内公園のエリアは年代や障害の有無に関わらず誰でも遊ぶことができるように整備されており、模範的な取り組みである。



## 福祉用具部門（一般部門）

### <最優秀賞>

#### ○しっかりフットサポートデスク（梅木 慶希）

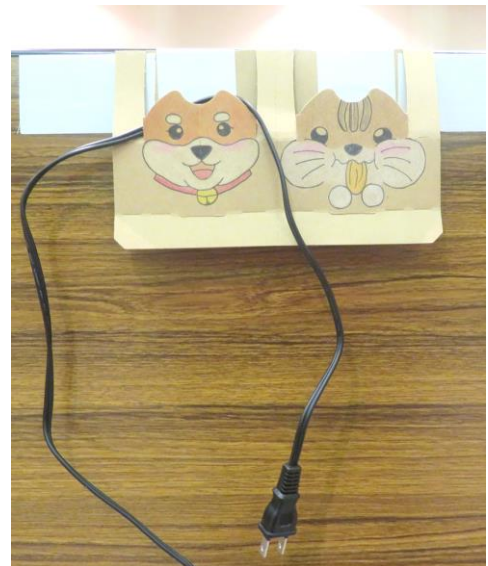
- ・身体障がい者の方が一般の椅子に座って作業するための机。
- ・収納可能な足置きを取り付け、利用者に合わせて角度を調整したことで、安定した座位姿勢を保つことができる。
- ・利用者を椅子に移乗してから机をセットすることができるように、机の足にキャスターを取り付けた。



### <優秀賞>

#### ○あんしん プラグホルダー（宮川 真衣子）

- ・電化製品のプラグ等を引っ掛けておくことができるもの。車椅子利用者等、床のものを拾うことが難しい人の利用を想定。
- ・コーヒー店等で貰えるテイクアウト用のドリンクホルダーを再利用して作成。
- ・市販のフックよりアバウトな着脱が可能なため、細かい作業が難しい場合でも使いやすい。



### <奨励賞>

#### ○入浴ベスト（高松 外美子）

- ・公衆浴場等を利用する際に、胸や背中中の傷を隠すためのもの。
- ・ボディタオルで作成したため着たまま身体を洗うことができ、水切れも良い。
- ・縫い目が身体に当たらないようにしたり前開きにすることで着脱を容易にするなど、使いやすさを考えた細かな配慮が見られる。



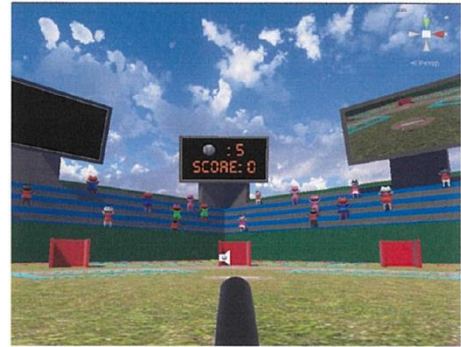
## 福祉用具部門（企業部門）

### <最優秀賞>

#### ○みんなで楽しくフィットネス！

（全国パーキンソン病友の会石川県支部  
& 金沢工業大学クラスター研究室）

- ・パーキンソン病の方が楽しみながら体を動かせるよう、VR ヘッドセットを用いたゲームアプリを開発。
- ・パーキンソン病患者の声を聞きながらエクササイズの内容を選定し、開発を進めた。
- ・操作ボタンを大きくしたり操作手順をシンプルにするなど、誰でも簡単に取り組めるように工夫した。また、利用者に合わせ、難易度やゲーム時の姿勢（座位・立位）を選ぶことができる。



### <優秀賞>

#### ○パソッテル トール（川端鉄工所株式会社）

- ・病院のベッドにモニターを取り付けるための器具。大きなサイズのモニターに対応可能なスタンドが欲しいとの病院スタッフの声を受けて制作。
- ・使用者・介助者双方にとっての利便性に考慮し、ベッドの頭側からアームを伸ばし、アームが180度回転するようにした。

